



平成 25 (2013) 年 3 月 発行

編集・発行 / 宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL : 44-2000 FAX : 44-2196

ホームページ <http://ww7.enjoy.ne.jp/~miyajimacc/komyunithy.html>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

自主防災会地区別会議 始まる！！

平成 25 年 2 月 1 日 (金)、4 日 (月)、6 日 (水) の 3 日に分けて、自主防災会地区別会議を開催しました。(時間は各 2 時間程度)

宮島には 8 区 39 町内会があります。それを 3 つに分けて、次の事項について、協議・シミュレーションを行いました。

- (1) 他地域の防災訓練を DVD で鑑賞
- (2) 防災マニュアルの確認 (コミュニティだより 25 参考)
- (3) 防災マップづくり
(避難場所や避難経路、危険箇所などを地図に書き込み)
- (4) 区ごとに今後の取り組みや予算の使い方を協議



他地域の取り組みを DVD で鑑賞することでイメージし、自分たちの役割などをマニュアルで確認し、マップを使って図上訓練・シミュレーション、そして、今後の取り組みにつなげていくということで、協議時間は短かったものの内容の濃いものとなりました。

東日本大震災を契機に、全国各地で自主防災組織の立ち上げや訓練が実施されています。宮島も「まさかのとき」を想定して、住民でできることを普段から話し合うことは、非常に有意義なことです。今回は、各区町内の代表者だけの会ではありましたが、今後、住民ひとりひとりにまで、自主防災を広報周知し、生命と財産を守っていきましょう

1 自助マニュアルの確認 (地震編)

- 1 揺れている最中はとにかく落下物から身を守る。
- 2 火災予防 (ガスの元栓を締める。電気のブレーカーを切る。) と 情報収集 (津波のおそれの有無をラジオ等で確認。)
- 3 避難は徒歩で。 (車道は緊急車両優先。)
- 4 離れている家族の安否は、災害伝言ダイヤルや、災害伝言板の活用を。
- 5 一次避難場所に集合して町内ごとに点呼、安否確認。

2 一次避難場所・避難経路の候補

南海トラフを震源域とする地震が起きたら、廿日市市は震度 6 弱、2~3 時間後に 4 m の津波が押し寄せるといわれています。それを想定して、危険箇所や、避難によさそうな場所を出し合いながら、各区の白地図に書き込んでいきました。危機管理課から竹内相談員さんも来られて、アドバイスしていただきました。この作業は「防災マップづくり」と言いますが、これ自体が一つの図上防災訓練になります。

今回作成した防災マップ (案) は清書して、各総代さんに 1 部ずつ配布する予定です。各町内会でも、その地図を使って図上訓練をしてみてください。「どこに避難するか」「どこを通るのがいいか」「危険な場所はどこか」。町内の皆さんで話し合った結果も書き込みながら、理解を深めていきましょう。

3 予算の使い方

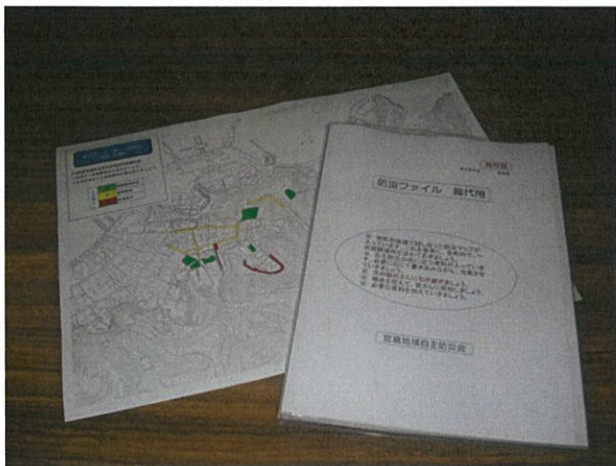
- 1区 緊急用ホイッスルを各戸配布
- 2区 ハンドメガホンを各町内に配布
- 3区 ハンドメガホンを各町内に配布
- 4区 ストラップ付ホイッスルを各戸配布
- 5区 緊急用ホイッスルを各戸配布
- 6区 緊急用ホイッスル、カラーメガホン、ハンドライトを各町内に配布
- 7区 ライトを各戸配布、カラーメガホンを各町内に配布
- 8区 緊急用ホイッスルを各戸配布

助けを呼ぶホイッスルや、情報伝達のメガホン。いざというときに活用できるよう、日頃から使ってみましょう。

『防災ファイル総代用』
町内に1冊 配布予定

自主防災の取り組みは積み重ねが大事です。今回作成した防災マップをはじめとして、これまでの自主防災会で話題になった資料をまとめた『防災ファイル 総代用』を各総代に、配布します。

この資料を使って、町内で、自主防災の話をしていきましょう。保存版ですので、次の総代さんにしっかり引き継いでください。



総合防災訓練 DVD 貸し出し

「百聞は一見にしかず」

他の地域での防災訓練の様子を町内会の集まりのときなどに、皆さんでご覧になって、イメージづくりをしてはいかがでしょうか？

<収録内容>

- ・廿日市地区防災訓練（約4分）
- ・四季が丘総合訓練（約3分）
- ・地御前地区総合防災訓練（約7分）

各町内会や、団体に貸し出し可能です。（DVD プレイヤーとテレビも貸し出し可）ご希望の方は、事務局まで。

☎ 44-2000
宮島支所地域づくり推進課内

編集後記

地区別会議を開催して、一次避難場所の候補地や避難経路をまとめた防災マップを作成しました。また、これまで配布したり、会議で確認したりしたマニュアル等を『防災ファイル総代用』として、各町内の総代さんに配布します。これらを活用して、各町内で、一次避難場所を決めたり、いざという時の安否確認の方法を確認したりしてください。

自分の身を自分で守るためには、とにかく訓練が大事です。どれだけ訓練を重ねても、訓練しすぎと言うことはありません。特に、消火器による初期消火は、火の手が天井に届くまでが勝負です。誰でも、身近な消火器で初期消火ができるようになるように、訓練を積み重ねましょう。

宮島地域自主防災会 会長 木村力
副会長 新竹学、岩村光芳
総代会 会長 正本文雄